

〈著者紹介〉

大森 真紀（おおもり・まき）

1951年生まれ。現在，早稲田大学社会科学部教授。

慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程単位修得退学。経済学博士。

佐賀大学経済学部（専任講師・助教授），立教大学経済学部（助教授・教授）を経て，1996年から現職。

主な著書

『現代日本の女性労働』（1990年，日本評論社）

『イギリス女性工場監督職の史的研究』（2001年，慶應義塾大学出版会）

『社会政策を学ぶ人のために』（共編著，1997年，三訂版 2007年，世界思想社）

『社会政策のなかのジェンダー』（共編著，2010年，明石書店）

E. ロバーツ『女は「何処で」働いてきたか』（共訳，1990年，法律文化社）

『戦後女性雇用資料集成』（監修・解説，2008～09年，日本図書センター）

『現代女性労働調査資料集成』（監修・解説，2012～13年，日本図書センター）